

(19)日本国特許庁 (J P)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号  
特開2001-76395  
(P2001-76395A)

(43)公開日 平成13年3月23日 (2001.3.23)

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード*(参考)
G 1 1 B 15/02	3 2 8	G 1 1 B 15/02	3 2 8 S 5 C 0 1 8
H 0 4 N 5/44		H 0 4 N 5/44	A 5 C 0 2 6
			D 5 D 1 0 2
	5/445	5/445	Z
	5/7826	5/782	Z
審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 8 頁) 最終頁に続く			

(21)出願番号 特願平11-250020

(22)出願日 平成11年9月3日 (1999.9.3)

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 竹島 友里

大阪府茨木市松下町1番1号 株式会社松  
下エーヴィシー・テクノロジー内

(74)代理人 10009/445

弁理士 岩橋 文雄 (外2名)

Fターム(参考) 5C018 FA04 HA10 HA11

5C025 AA28 BA27 BA28 CA09 CB07

CB08 DA08 DA10

5D102 AC01 AD17 GA02 GA08 GA64

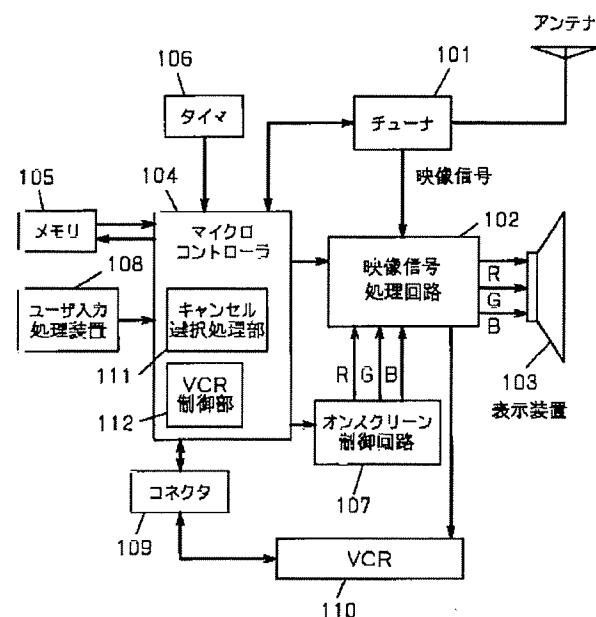
GA81

(54)【発明の名称】 録画予約システムを備えた放送受信装置及び録画予約制御方法

## (57)【要約】

【課題】 チューナが一つしかないシステムでの録画予約の場合等で、録画開始時に現在視聴中のチャンネルの切り替えが必要となることがあり、録画予約を実行すると視聴しているチャンネルをそのまま継続して見ることが出来ないという問題が起こり得る。

【解決手段】 マイクロコントローラ104は、録画予約の録画開始の一定時間前になったと判断すると、オンスクリーン制御回路107に録画の予告メッセージやキャンセルの選択画面を表示するように指示し、ユーザの選択によって録画予約の開始時間になってもVCRには制御コマンドを送らないようにすることで、録画開始時に現在視聴中のチャンネルの切り替えが必要な場合などでも、視聴しているチャンネルをそのまま継続して見ることが出来るようになる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】録画予約等での録画開始の一定時間前に予告メッセージを表示し、さらに録画予約の継続／キャンセルの選択画面を表示してユーザが録画予約の継続／キャンセルを選択出来るようにしたことを特徴とする放送受信装置及び録画予約制御方法。

【請求項2】チューナと、映像信号処理回路と、表示装置と、録画開始のメッセージを表示するためのオンスクリーン制御回路と、録画予約時間をカウントするためのタイマーと、録画予約のデータを保存するメモリと、これらを制御するマイクロコントローラを具備し、録画開始の一定時間前に録画の予告メッセージを表示することを特徴とする放送受信装置。

【請求項3】録画予約等での録画開始の一定時間前かどうかを判断して、一定時間前なら録画の予告メッセージを表示する請求項2記載の録画予約制御手段。

【請求項4】請求項2において、録画の予告メッセージにて、録画予約を継続して実行するか、キャンセルするかを選択できるようにした選択画面を表示するようにオンスクリーン制御回路に指示するマイクロコントローラ内部のキャンセル選択処理部と、録画予約をキャンセルするかどうかを選択するためのユーザー入力処理装置と、VCRに録画開始等のVCR制御コマンドをシステム端子を通して送信する様指示するマイクロコントローラ内部のVCR制御部と、VCRと接続するコネクタを具備した請求項1記載の放送受信装置。

【請求項5】請求項4記載の放送受信装置においてVCR制御部、及びコネクタはVCRに対してVCR制御コマンドを無線遠隔制御コードの形で送信する無線遠隔制御手段である放送受信装置。

【請求項6】請求項3において、録画予約等での録画開始の一定時間前に録画予約をキャンセルするかどうかの選択画面を表示して、ユーザが録画予約のキャンセルを選択できるようにした録画予約制御手段。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、録画予約システムを備え、VCRを制御できるシステムを備えた放送受信装置及び録画予約制御方法に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来の録画予約システムを備えた放送受信装置及び録画予約制御方法としては、特開平7-46490号公報などが提案され、VCRの操作を別途に操作しなくても予約録画を実行することが出来る装置の一例が記されている。

【0003】以下に従来の録画予約システムを備えた放送受信装置の一例について、図5を用いて説明する。

【0004】図5は従来の録画予約システムを備えた放送受信装置を示し、図5においてマイクロコントローラ504は、メモリ505に蓄積されている予約録画のデ

ータにより録画開始と判断すると、無線遠隔制御手段509からVCRに対して無線遠隔信号の形で録画のコマンドを送信することにより録画を実行する。

【0005】また、通常、録画予約のキャンセルには、まずリモコンなどのキーを探し出して押して、録画の予約一覧などが表示されたキャンセルの出来る操作画面を出すことになる。その予約一覧の中からキャンセルしたい目的の予約項目をキー入力などにより選択して、さらにキャンセルのためのキーアクションをとる必要がある。これを図6を用いて説明する。

【0006】図6はの録画予約のキャンセル時のフローチャートを示し、これは録画予約のキャンセルの出来る予約一覧表がメニューの下階層にある場合としたものである。この場合、ステップ601でまずユーザのキー入力などによりメニュー表示の要求があったかどうかを判断し、メニュー表示の要求があれば、ステップ602でメニュー画面を表示する。またステップ603でユーザによってメニュー画面内の項目から予約一覧表等の項目が選択され、ステップ604で予約一覧表が選択されたと判断すると、ステップ605にて予約一覧表の表示を行う。一方、予約一覧表以外の項目が選択された場合はその項目にあった別の処理（ステップ611）がなされる。ステップ606ではユーザによって予約一覧表にて目的とする録画予約番組が選択され、ステップ607でさらに目的の処理の項目が選択される。

【0007】ステップ608で録画予約のキャンセルが選択されたと判断した場合は、ステップ609にて録画予約データの消去を行い、ステップ610でユーザは予約一覧表を終了するキーアクションを行い、一連の録画予約のキャンセルの操作を終了する。

## 【0008】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、前記図5で説明した発明はVCRの操作を別途に操作しなくても予約録画を実行することを可能にするのみが目的であり、本発明のようにユーザに録画予約の録画開始を知らせると共にその場で簡単に録画予約の継続／キャンセルの選択を可能とするものではない。また、前記発明では、使用したい目的のチューナが一つしかないシステムでの録画の場合等で、録画開始時に現在視聴中のチャンネルの切り替えが必要となることがあり、録画予約を実行すると視聴しているチャンネルをそのまま継続して見ることが出来ないという問題が起こり得る。

【0009】現在視聴しているチャンネルをそのまま継続して視聴するためには、録画予約をキャンセルしなければいけないが、通常、録画予約のキャンセルには、まずリモコンなどのキーを探し出して押して、録画の予約一覧などが表示されたキャンセルの出来る操作画面を出すことになる。その予約一覧の中からキャンセルしたい目的の予約項目をキー入力などにより選択して、さらにキャンセルのためのキーアクションをとる必要がある。

このように録画予約のキャンセルには複数のキーアクションをしなければならず、予約変更の手続きに手間がかかり不便である。

【0010】また、ユーザによっては上記のような複雑な複数のキーアクションを踏む録画予約のキャンセルの手順がその場で分からず、録画予約をキャンセルしたいにもかかわらず、そのまま録画予約が実行されてしまい現在視聴しているチャンネルが強制的に切り替わって視聴できなくなることも考えられるので、ユーザに知らせて簡単にその場で録画予約のキャンセル手続きの出来るシステムが要求される。

【0011】

【課題を解決するための手段】上記問題点を解決するために本発明の放送受信装置は、チューナと、映像信号処理回路と、表示装置と、録画開始のメッセージを表示するためのオンスクリーン制御回路と、録画予約時間をカウントするためのタイマーと、録画予約のデータを保存するメモリと、これらを制御するマイクロコントローラを具備し、録画開始の一定時間前に録画の予告メッセージを表示すると共に、さらに録画の予告メッセージにて、録画予約を継続して実行するか、キャンセルするかを選択できるようにした選択画面を表示するようにオンスクリーン制御回路に指示するキャンセル選択処理部と、録画予約をキャンセルするかどうかを選択するためのユーザー入力処理装置と、VCRに録画開始等のVCR制御コマンドを送信するよう指示するVCR制御部とを具備したものである。

【0012】これにより、録画予約の継続／キャンセルを録画の予告メッセージ表示内にて簡単に選択出来るようにすることで、録画開始時に現在視聴中のチャンネルの切り替えが必要な場合などでも、視聴しているチャンネルをそのまま継続して見ることが出来るようになる。

【0013】

【発明の実施の形態】本発明の請求項1に記載の発明は、録画予約等での録画開始の一定時間前に予告メッセージを表示し、さらに録画予約の継続／キャンセルの選択画面を表示してユーザが録画予約の継続／キャンセルを選択出来るようにしたことを特徴とする放送受信装置及び録画予約制御方法であり、録画開始時に現在視聴中のチャンネルの切り替えが必要な場合などでも、録画の予告メッセージ内で録画予約のキャンセルが簡単に出来、現在視聴中のチャンネルをそのまま継続して見ることが出来るという作用を有する。

【0014】本発明の請求項2に記載の発明は、チューナと、映像信号処理回路と、表示装置と、録画開始のメッセージを表示するためのオンスクリーン制御回路と、録画予約時間をカウントするためのタイマーと、録画予約のデータを保存するメモリと、これらを制御するマイクロコントローラを具備し、録画開始の一定時間前に録画の予告メッセージを表示することを特徴とする放送受

信装置であり、録画開始前にユーザに対して録画が開始されることを予告メッセージにて知らせるという作用を有する。

【0015】本発明の請求項3に記載の発明は、録画予約等での録画開始の一定時間前かどうかを判断して、一定時間前なら録画の予告メッセージを表示する録画予約制御手段であり、録画開始前にユーザに対して録画が開始されることを予告メッセージにて知らせるという作用を有する。

【0016】本発明の請求項4に記載の発明は、請求項2において、録画の予告メッセージにて、録画予約を継続して実行するか、キャンセルするかを選択できるようにした選択画面を表示するようにオンスクリーン制御回路に指示するマイクロコントローラ内部のキャンセル選択処理部と、録画予約をキャンセルするかどうかを選択するためのユーザー入力処理装置と、VCRに録画開始等のVCR制御コマンドをシステム端子を通して送信する様指示するVCR制御部とを具備した放送受信装置であり、録画開始時に現在視聴中のチャンネルの切り替えが必要な場合などでも、録画の予告メッセージ内で録画予約のキャンセルが簡単に出来、現在視聴中のチャンネルをそのまま継続して見ることが出来るという作用を有する。

【0017】本発明の請求項5に記載の発明は、請求項4記載の放送受信装置においてVCR制御部及びコネクタはVCRに対してVCR制御コマンドを無線遠隔制御コードの形で送信する無線遠隔制御手段である放送受信装置であり、録画開始時に現在視聴中のチャンネルの切り替えが必要な場合などでも、録画の予告メッセージ内で録画予約のキャンセルが簡単に出来、現在視聴中のチャンネルをそのまま継続して見ることが出来るという作用を有する。

【0018】本発明の請求項6に記載の発明は、請求項3において、録画予約等での録画開始の一定時間前に録画予約をキャンセルするかどうかの選択画面を表示して、ユーザが録画予約のキャンセルを選択できるようにした録画予約制御手段であり、録画開始時に現在視聴中のチャンネルの切り替えが必要な場合などでも、録画の予告メッセージ内で録画予約のキャンセルが簡単に出来、現在視聴中のチャンネルをそのまま継続して見ることが出来るという作用を有する。

【0019】以下、本発明の実施の形態について、図1から図4を用いて説明する。

【0020】（実施の形態1）図1は本発明の一実施例における録画予約システムを備えた放送受信装置のブロック構成図を示す。

【0021】図1において、101はデジタル放送の信号を受信できるデジタル用のチューナ、102は映像信号を処理する映像信号処理回路、103は表示装置、105は録画予約のチャンネルや録画開始時間、録画終了

時間などの予約データを記憶するメモリ、106は予約時間などをカウントするタイマ、107は表示を制御するオンスクリーン制御回路、104はこれらを制御するマイクロコントローラ、108はユーザが指示を入力できるユーザ入力処理装置、110は欧州標準である21ピンのAV接続ケーブル上でTVとVCRとのインターフェースコマンド等のプロトコルを定義しているProject 50の仕様の機能を有した、アナログチューナのみを装備したVCRで、109は21ピンのAV接続ケーブルのコネクタ、111は録画予約のキャンセルを選択できるモードにするキャンセル選択処理部で、112は21ピンのAV接続ケーブルを通して前記Project 50のコマンドを使ってVCRに録画コマンドを送信してVCRに録画を指示するVCR制御部を示し、キャンセル選択処理部111とVCR制御部112はマイクロコントローラ04の内部にある。

【0022】以上のように構成された放送受信装置について、以下その動作を説明する。

【0023】図1において、チューナ101はアンテナから受けたデジタル放送の信号から指定されたチャンネルを選択して映像信号を出力し、映像信号処理回路102は映像信号とオンスクリーン表示回路107からのRGB信号を処理して表示装置103に出力する。

【0024】また、この映像信号処理回路102はデジタルの映像信号をPALのアナログ映像信号に変換し、VCR110に出力する。メモリ105は録画予約の時間などの予約データを記憶し、タイマ106は時間をカウントする。マイクロコントローラはメモリ105とタイマ106とを比較して、録画予約の録画開始の一定時間前になったと判断すると、オンスクリーン制御回路107に録画の予告メッセージやキャンセルの選択画面を表示するように指示し、オンスクリーン制御回路107はオンスクリーンを映像信号処理回路102を通して表示装置103に表示し、ユーザに録画予約が開始されることを知らせ、マイクロコントローラ内部のキャンセル選択処理部111において、さらに録画予約を継続するか、キャンセルするかの選択画面を表示するよう指示し、ユーザはそのオンスクリーン表示を見てリモコンや本体付属のキーなどのユーザ入力処理装置108を通して録画予約を継続するか、キャンセルするかの指示を送り、継続との指示を受けると録画予約の開始時間になればVCR制御部112から21ピンのAV接続ケーブルを通してVCRにProject 50のプロトコルで決められた録画の制御コマンドを送るよう指示する。

【0025】また、キャンセルとの指示を受けると、録画予約のデータをメモリ105から消去し、録画予約の開始時間になってもVCRには前記の録画用の制御コマンドを送らないようにする。一方、継続／キャンセルのどちらの指示も無い場合は、録画予約の開始時間になると録画が開始される。録画開始時にVCR側にテープが

入っていない場合やテープの爪の折れた記録不可の場合などの時には、録画開始になっても録画はされないが、VCR110からTV側にProject 50で決められたVCR状態のコードを21ピンのAV接続ケーブルを通して送信し、TV側はVCR制御部112でコードを受け取り、コード解析し、その内容をオンスクリーン表示にて「NO TAPE」「TAPE IS PROTECTED」などのメッセージを表示するよう、オンスクリーン制御回路107に指示して表示させ、ユーザに録画できないことを知らせる。

【0026】また、上記の動作を図3及び図4のフローチャートを用いて説明する。

【0027】図3は、録画予約がある時の録画開始前の状態での予約キャンセル方法のフローチャートである。

【0028】図3において、ステップ301は録画予約の開始時間の一定時間前かどうかを判断し、ステップ302は録画予約の録画開始を知らせる予告メッセージをオンスクリーン表示する。ステップ303は録画予約を継続するかキャンセルするか選択画面を表示し、ステップ304では録画予約の継続が選択されたか、キャンセルされたかを判断する。ステップ305では録画予約の開始時刻かどうかを判断し、ステップ306ではVCRに録画コマンドを送信する。ステップ307では録画予約のキャンセル処理を行うことを示す。

【0029】以上のように構成された録画キャンセル方法について、以下その動作を説明する。

【0030】図3において、録画予約がある場合、ステップ301にて録画予約の開始時間の決められた一定時間前かどうかを判断し、一定時間前ならばステップ302にて録画予約の録画開始を知らせる予告メッセージをオンスクリーン表示して、ステップ303にて録画予約を継続するかキャンセルするかの選択画面を表示する。

【0031】ユーザはその選択画面により、録画の継続かキャンセルかを選択してステップ304にて録画予約が継続されたと判断されると、ステップ305にて録画予約の開始時刻かどうかを判断し、開始時刻になっていれば、ステップ306にてVCRに録画コマンドを送信する処理を行う。また、ステップ304にて録画予約がキャンセルされたと判断された場合には、ステップ607にて録画予約のキャンセル処理を行う。このように録画の開始前に自動的に録画予約の予告メッセージが表示されかつその場で簡単にキャンセルが出来るようになる。

【0032】図4は、録画開始後に録画をキャンセルする場合の録画キャンセル方法のフローチャートである。

【0033】図4においてステップ401では録画のキャンセル画面を出すように要求されたかどうかを判断し、ステップ402で録画キャンセル画面を表示する。ステップ403にてユーザによって録画のキャンセルの選択がなされ、ステップ404で録画のキャンセルが選

扱われたと判断する。ステップ406では録画のキャンセルの処理を行う。ステップ405では録画が継続される。

【0034】以上のように構成された録画キャンセル方法について、以下その動作を説明する。

【0035】図4は、既に録画が開始されている場合、ユーザが録画をキャンセルしたいとした時のフローチャートであるが、図4において、ステップ401では録画のキャンセル画面を出すように要求されたかどうかを判断し、要求があったと判断するとステップ402で録画キャンセル画面を表示する。ステップ403にてユーザによって録画のキャンセルの選択がなされ、ステップ404で録画のキャンセルが選択されたと判断すると、ステップ406にて録画のキャンセルの処理を行う。

【0036】また、キャンセルが選択されなかった場合は、ステップ405に行き録画が継続される。このように、ユーザは録画開始後も、複雑な階層のメニューに入り込まなくても、一つのキーアクションでキャンセル画面を呼び出せ簡単に録画をキャンセルできる。

【0037】さて、上記の例のように構成されたTVとVCRでTV側にしかデジタル用のチューナが備えられていないシステムで、VCRには備わっていないTV側のデジタルチューナで受信したソースをVCRに入力して録画する場合などにおいて、録画予約されたデジタル放送のチャンネルとTVで視聴中のデジタル放送のチャンネルが異なる場合には、録画予約の録画開始時間になれば、デジタルチューナは一つしかないため、チャンネルは録画予約のチャンネルに変更する必要があるので、視聴中のデジタル放送のチャンネルはその時点で切り替わり、継続して見ることは出来ない。

【0038】現在視聴しているチャンネルをそのまま継続して視聴するためには、録画予約をキャンセルしなければいけないが、通常、録画予約のキャンセルには、まずリモコンなどのキーを探し出して押して、録画の予約一覧などが表示されたキャンセルの出来る操作画面を出すことになる。その予約一覧の中からキャンセルしたい目的の予約項目をキー入力などにより選択して、さらにキャンセルのためのキーアクションをとる必要がある。

【0039】このように録画予約のキャンセルには複数のキーアクションをしなければならず、予約変更の手続きに手間がかかり不便である。それを回避するためには録画予約の録画開始時間前に予告メッセージを表示することで、まずユーザに録画予約により録画が開始されるのでチャンネルが変更されるかもしれないことを知らせ、録画予約をキャンセルするかどうかの選択画面を表示してその場でユーザが簡単にキャンセルを選択出来るようにすれば良い。

【0040】そこで、マイクロコントローラ内部のキャンセル選択処理部111は録画予約の録画開始時間前になると、録画予約の継続/キャンセルを選択するための

画面の表示を指示して録画予約をキャンセルできるようにする。

【0041】またこれは、VCR側にはないチューナで、TV側にそのチューナ(例えばデジタルチューナ)が一つしかなく、TV側のそのチューナを使ってしか録画できない状況において、特に有効となるが、上記例のデジタルチューナ以外にももちろんTV側にアナログチューナが備わっていても同様に有効であり、アナログチューナにおいても同様の機能を利用することも出来る。

【0042】(実施の形態2)図2は本発明の一実施例における録画予約システムを備えた放送受信装置のブロック構成図を示す。

【0043】図2において、201はデジタル放送の信号を受信できるデジタル用のチューナ、202はデジタルの映像信号を処理する映像信号処理回路、203は表示装置、205は録画予約のチャンネルや録画開始時間、録画終了時間などの予約データを記憶するメモリ、206は予約時間などをカウントするタイマ、207は表示を制御するオンスクリーン制御回路、204はこれらを制御するマイクロコントローラ、208はユーザが指示を入力できるユーザ入力処理装置、210はアナログチューナのみを装備したVCRで、209はVCRを無線遠隔信号によって制御する無線遠隔制御手段を示す。

【0044】211は録画予約のキャンセルを選択できるモードにする処理部でこれはマイクロコントローラ204の内部にある。

【0045】以上のように構成された放送受信装置について、以下その動作を説明する。

【0046】図2において、チューナ201はアンテナから受けたデジタル放送の信号から指定されたチャンネルを選択して映像信号を出力し、映像信号処理回路202は映像信号とオンスクリーン表示回路207からのRGB信号を処理して表示装置203に出力する。

【0047】また、映像信号処理回路202はデジタルの映像信号をPALのアナログ映像信号に変換し、VCR210に出力する。メモリ205は録画予約の時間などの予約データを記憶し、タイマ206は時間をカウントする。マイクロコントローラはメモリ205とタイマ206とを比較して、録画予約の録画開始の一定時間前になったと判断すると、オンスクリーン制御回路207に録画の予告メッセージやキャンセルの選択画面を表示するように指示し、オンスクリーン制御回路207はオンスクリーンを映像信号処理回路202を通して表示装置203に表示し、ユーザに録画予約が開始されることを知らせ、マイクロコントローラ内部のキャンセル選択処理部211において、さらに録画予約を継続するか、キャンセルするかを選択画面を表示するよう指示し、ユーザはそのオンスクリーン表示を見てリモコンや本体付属のキーなどのユーザ入力処理装置208を通して録画

予約を継続するか、キャンセルするかの指示を送り、マイクロコントローラ204が継続との指示を受けると録画予約の開始時間になれば無線遠隔制御手段209からVCRに録画の制御コマンドを無線遠隔信号の形で送るように指示する。

【0048】またキャンセルとの指示を受けると、録画予約のデータをメモリ205から消去し、録画予約の開始時間になってもVCRには制御コマンドを送らないようにする。一方、継続／キャンセルのどちらの指示も無い場合は、録画予約の開始時間になると録画が開始される。

【0049】さて、上記の例のように構成されたTVとVCRでTV側にしかデジタル用のチューナが備えられていないシステムで、VCRには備わっていないTV側のデジタルチューナで受信したソースをVCRに入力して録画する場合などにおいて、録画予約されたデジタル放送のチャンネルとTVで視聴中のデジタル放送のチャンネルが異なる場合には、録画予約の録画開始時間になれば、デジタルチューナは一つしかないため、チャンネルは録画予約のチャンネルに変更する必要があるので、視聴中のデジタル放送のチャンネルはその時点で切り替わり、継続して見ることは出来ない。

【0050】現在視聴しているチャンネルをそのまま継続して視聴するためには、録画予約をキャンセルしなければいけないが、通常、録画予約のキャンセルには、まずリモコンなどのキーを探し出して押して、録画の予約一覧などが表示されたキャンセルの出来る操作画面を出すことになる。その予約一覧の中からキャンセルしたい目的の予約項目をキー入力などにより選択して、さらにキャンセルのためのキーアクションをとる必要がある。

【0051】このように録画予約のキャンセルには複数のキーアクションをしなければならず、予約変更の手続きに手間がかかり不便である。それを回避するためには録画予約の録画開始時間前に予告メッセージを表示することで、まずユーザに録画予約により録画が開始されるのでチャンネルが変更されるかもしれないことを知らせ、録画予約をキャンセルするかどうかの選択画面を表示してその場でユーザが簡単にキャンセルを選択出来るようにすれば良い。

【0052】そこで、マイクロコントローラ内部のキャンセル選択処理部211は録画予約の録画開始時間前になると、録画予約の継続／キャンセルを選択するための画面の表示を指示して録画予約をキャンセルできるよう

にする。

【0053】またこれは、VCR側にはないチューナで、TV側にそのチューナ(例えばデジタルチューナ)が一つしかなく、TV側のそのチューナを使ってしか録画できない状況において、特に有効となるが、上記例のデジタルチューナ以外にももちろんTV側にアナログチューナが備わっていても同様に有効であり、アナログチューナにおいても同様の機能を利用することも出来る。

【0054】

【発明の効果】以上のように本発明の録画予約システムを備えた放送受信装置及び録画予約方法によれば、録画予約の録画開始時間前に録画の予告メッセージを表示すると共に、継続／キャンセルを簡単に選択出来るようにすることで、録画開始時に現在視聴中のチャンネルの切り替えが必要な場合などでも、視聴しているチャンネルをそのまま継続して見る事が出来るようになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例における録画予約システムを備えた放送受信装置のブロック構成図

【図2】本発明の一実施例における録画予約システムを備えた放送受信装置のブロック構成図

【図3】録画予約がある時の録画開始前の状態での予約キャンセル方法のフローチャート

【図4】録画開始後に録画をキャンセルする場合の録画キャンセル方法のフローチャート

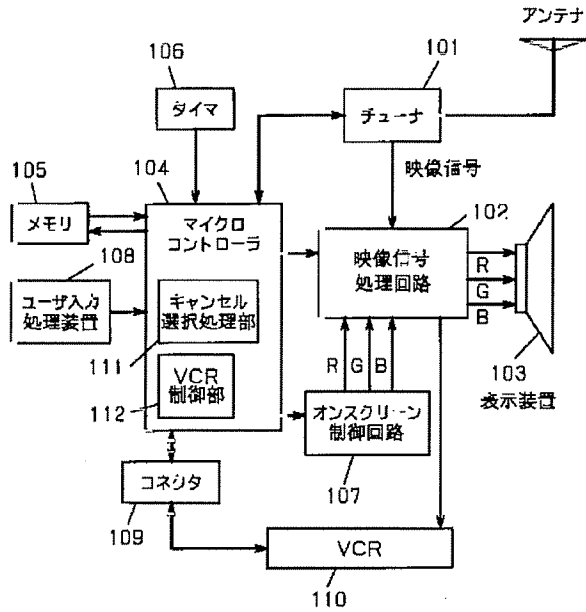
【図5】従来の放送受信装置のブロック構成図

【図6】従来の録画予約のキャンセル時のフローチャート

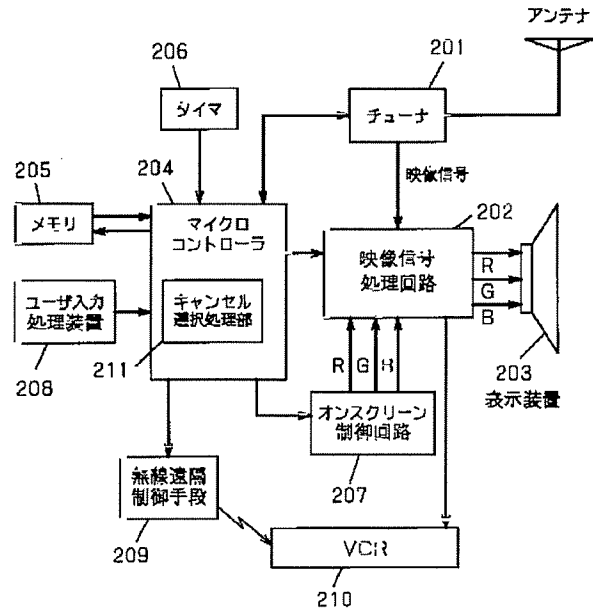
【符号の説明】

- 101, 201, 501 チューナ
- 102, 202, 502 映像信号処理回路
- 103, 203, 503 表示装置
- 104, 204, 504 マイクロコントローラ
- 105, 205, 505 メモリ
- 106, 206, 506 タイマ
- 107, 207, 507 オンスクリーン制御回路
- 108, 208, 508 ユーザ入力処理装置
- 109, 209 コネクタ
- 209, 509 無線遠隔制御手段
- 110, 210 VCR
- 111, 211 キャンセル選択処理部
- 112 VCR制御部

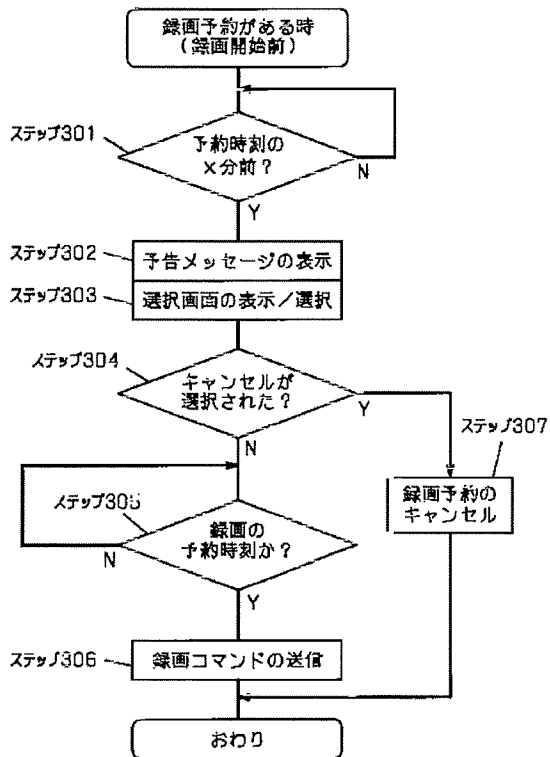
【図1】



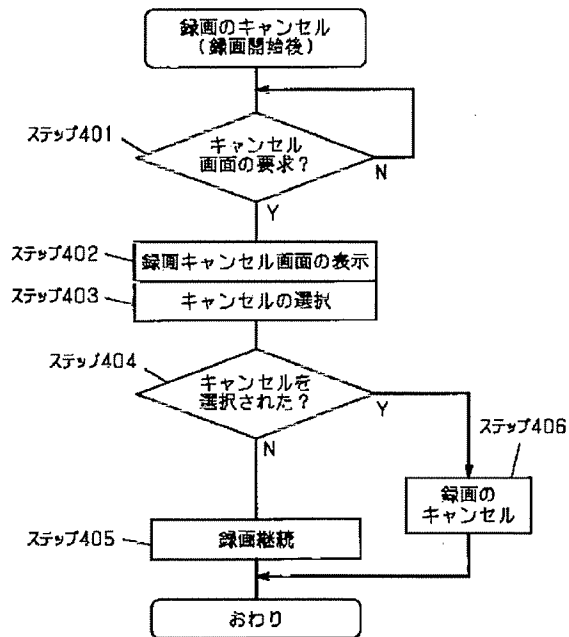
【図2】



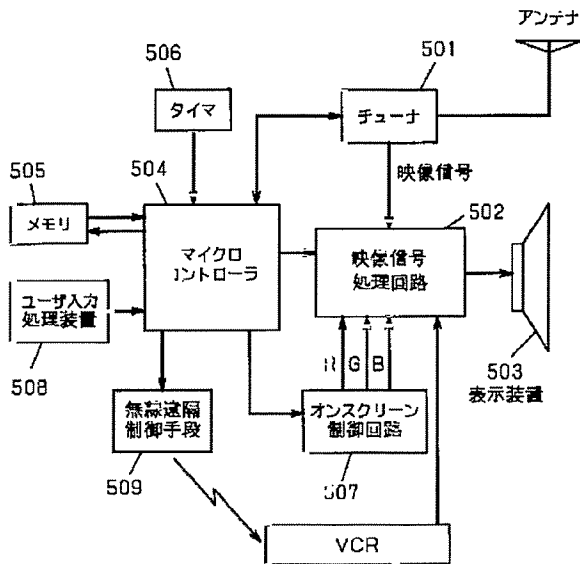
【図3】



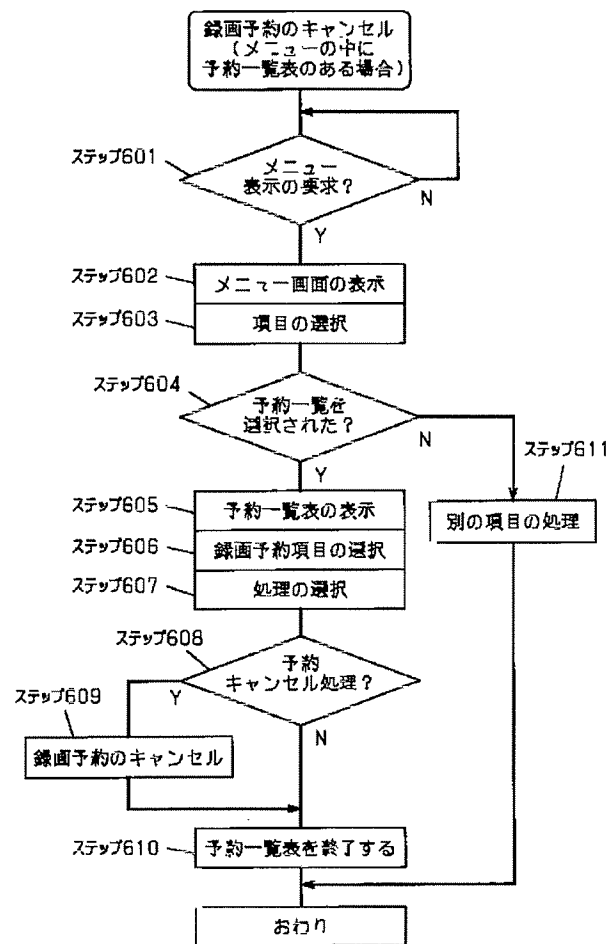
【図4】



【図5】



【図6】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.<sup>7</sup>

H04N 5/765

識別記号

F I

H04N 5/782

(参考)

K